

《本書について》

本書に掲載されているセットアップ情報は、スキャナで使用できる機能の一部を抜粋したものです。すべての機能を参照するためには、弊社の Web ページよりユーザーマニュアルをダウンロードしてください。

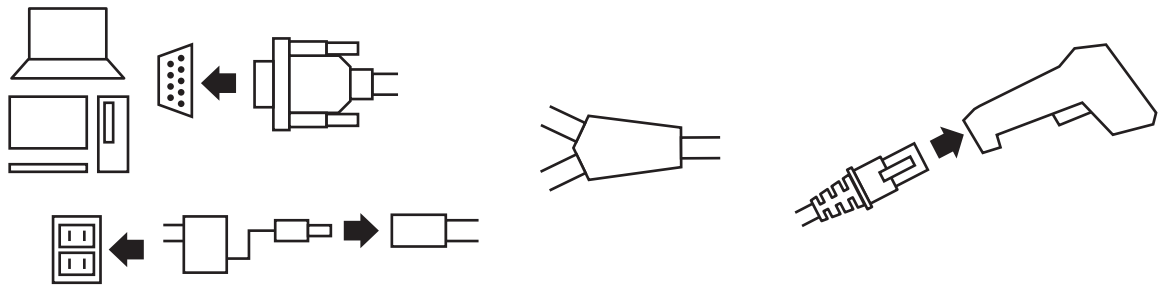
《ユーザーマニュアルについて》

本書に掲載されていないセットアップ情報やトラブルシューティング情報などを参照するために、ユーザーマニュアルをダウンロードしてご利用ください。以下の場所からダウンロードすることが可能です。

[<http://jp.ute.com>] → [製品] → [バーコードスキャナ] → [2D イメージスキャナ] → [MS852] → [ダウンロード]

《スキャナのセットアップについて》

- ① 付属の専用 RS232 (DB9、メス) ケーブルを使用してスキャナとホスト PC を接続してください。
- ② ホスト PC 上でシリアル通信可能なターミナルソフトウェアを実行し、バーコードを読み取ります。
通信設定：9600、8、N、1、N、N
- ③ 正しく文字列が表示されない場合は、ターミナルの設定やユーザーマニュアルの確認を行ってください。



《設定変更方法について》

設定用のバーコードを読み取ると即座に設定は変更され保存されます。変更された設定は不揮発性の内部メモリへ保存され、電源を切っても保持されます。

《設定初期化》

以下の設定用コードを左から順に読み取ると設定がご購入時の状態へ初期化されます。



設定を購入時の状態に戻す

1/2



設定を購入時の状態に戻す

2/2

《バージョン表示》

以下のコードを読み取ると、スキャナがバージョン情報を出力します。



バージョン表示

《ボーレート》

シリアル通信における通信速度を変更することができます。初期状態では、通信速度は「9600 baud」に設定されています。シリアル通信をご利用いただく環境に合わせて設定してください。その他の通信設定や DB9 のピン配置などは、ユーザーマニュアルをご覧ください。



9600 baud



19200 baud



38400 baud



57600 baud



115200 baud

《スキャンモード》

スキャナは以下の 4 つのスキャンモードをサポートしています。標準は「レベル」です。各モードの詳細はユーザーマニュアルを参照してください。



レベル

トリガーを押している間は照準と照明が点灯し、バーコードを讀取るかトリガーを放すと消灯します。



プレゼンテーション

対象物（バーコードなど）を検知すると、自動的に照準と照明が点灯しバーコードを讀取ります。



自動照準

スキャナが自身の移動を感知すると照準だけが点灯し、トリガーを押すと照明が点灯しバーコードを讀取ります。



自動照準 + 照明

スキャナが自身の移動を感知すると照準と照明が点灯し、トリガーを押すとバーコードを讀取ります。

《狙い読み》

ピックリストモードを有効にすると、赤い丸の照準が重なったバーコードだけを讀み取ります。標準は「無効」です。スキャンモードの「自動照準」と組み合わせることで、更に狙いが定めやすくなります。



ピックリストモードは常に無効



ピックリストモードは常に有効

《接頭辞、接尾辞》

バーコード讀み取り後にスキャナが付加する接頭辞と接尾辞を設定することができます。標準は「[データ]<CR><LF>」です。その他についてはユーザーマニュアルの「データ送信設定」の項目をご覧ください。



[データ]<CR><LF>



[データ]<CR>



<STX>[データ]<ETX>

《ビーブ音の音量》

スキャナの出力するビーブ音の音量を設定することができます。標準は「大」です。



音量小



音量中



音量大